

教育研究所運営委員会(前期)

5月22日(木)に、須崎市教育研究所 前期運営委員会を行いました。この会は教育研究所の適切な運営のために、所長の諮問機関として設置されています。運営委員長は、須崎中学校の安井校長に決定しました。

冒頭に教育長から以下のように挨拶がありました。一部抜粋してご紹介します。

本市の教育変革ビジョン「Make “IT” Fun」も2年目に入った。ビジョンそのものは本市独自のもので、大きくは国や県の示す方向性と一致している。この夏には丸1年を迎え、だんだんと学校の変容の様子も尋ねられるようになってきた。

この4月、教育研究所の研究教諭として森田まもり教諭をお迎えした。もともと森田教諭は中学校英語教諭のため、研究所でも「Make “IT” Fun」に資する取り組みとして、「AIを活用した英語教育の推進」に係る研究を行っていただく。加えて、私が着任時より申し上げていた、全ての学力、生きる力の基礎となる「読解力」についても、研究を依頼したところである。着手初年度の今年、まずは調査の1年になるものと思っている。

そして、大きな教育課題の一つである「いじめ・不登校」については、日々の児童生徒の様子やSOSのサインを見落とさないように注意を払いながら、あるいは、一人ひとりの実態に応じた支援、関係機関との連携を意識しながらの、組織的な対応が求められている。さらには、須崎市教育支援センター、COCOという愛称が決まったが、この機能拡充も図りつつ、全ての子どもたちの学習権を保障するにはどうすればよいか研究・分析を続けることも、重要と考えている。



研究教諭からは今年度の研究の方向性を説明しました。大まかな内容は以下の通りです。

①AI を取り入れた英語学習の推進

- ・ AI アプリ ELSA for speak を英語の授業に取り入れ、「話すこと」の力の向上を目指す。
- ・ モデル校の朝ヶ丘中学校・須崎中学校への授業支援
- ・ GTEC の結果分析

②読解力向上に関する調査・研究

- ・基礎的・汎用的な読解力の向上を目指す。



教科書や新聞、説明書などに書かれている意味や意図を正確に読み取る力のこと。

③不登校・不登校傾向対策

- ・児童生徒理解
- ・生徒と繋がる、生徒を繋げる
- ・年3回不登校・不登校等傾向対策委員会を実施

英語×AI ELSA教員研修会

5/8にELSAの教員研修を受講しました。須崎市は今年度、ELSA for speakというアプリを使い、英語の4技能のうちの「話すこと」の力の向上を目指していきます。この研修会ではアプリの簡単な説明を受けたのち、実際にどのような使い方ができるかを実践的に学ぶことができました。日本人が難しさを感じている「L」と「R」の発音の違いを練習するために、「right」と「light」をELSAを使って発音チェックをしました。私自身が英語教諭ですが、初めて発音をすると正確性が82%と表示され、自身の発音力がまだまだだと実感したことでした。

また単語の発音以外にも、少し長い英文の発音を確認することもできました。自分では発音できていると思っていた英単語が以外にも正確性に欠けていると気づくことができました。生徒たちは、普段の授業ではあまり自分の英語の発音を聞く機会がないですが、このELSAを使うと、自分の発音をその場で即座に聞き直すことができ、発音が不十分だった箇所がすぐに分かることができます。すぐに評価が返ってくること、何度でもやり直しができることも非常にいい点だと思いました。

その他にも英語力が高い生徒、またはコミュニケーション力を高めたい生徒たちには、さまざまなレベルに分かれた英会話の練習もできるパートもありました。こちらが少し文法的にミスをして、AIがうまく汲み取り、会話を続けてくれるので、本当にネイティブの方と会話をしているような感覚になりました。これを使って毎日家で会話を続けていると、コミュニケーション力の向上に繋がるのではないかと感じたことでした。

6月からは各学校で、本格的に運用が開始されます。私も効果的なELSAの活用方法を考え、発信していけたらと思います。また、市内の先生方がどのように活用されているか、ぜひ勉強させていただきたいので、また学校のほうへ支援訪問に行かせていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

